

科目名	専門演習 I B	
担当者	平手 賢治 / HIRATE, Kenji	
科目情報	法律 / 必修 / 後期 / 演習 / 2 単位 / 3 年次	
科目概要	授業内容	専門演習 I A (平手) の続きです。専門演習 I A と同じく、M. サンデル著 (鬼澤忍訳) 『これからの「正義」の話をしよう—いまを生き延びるための哲学—』 (早川ノンフィクション文庫、2011 年) を用いて、倫理的、法的問題に取り組みます。1 月にはゼミ論文の提出を義務付けます。
	到達目標	専門演習 I A において身につけた「ディベートに耐え、法的思考力を身につけること」に加えて、さらに、それぞれの進路希望に応じて、各自の目標を達成できることを目指します。また、4 年次演習のゼミ論文のテーマを決定します。
授業計画	(1) オリエンテーション (研究発表の日程調整、自己紹介など) (2) 各自報告&議論 (3) // (4) // (5) // (6) // (7) // (8) // (9) // (10) // (11) // (12) // (13) // (14) // (15) //	
自学自習	事前学習	授業前の準備学習は、とても大切です。参考文献は最低読んで理解しててください。学習時間の目安としては、多ければ多いほど良いのは当然ですが、標準的な学生で、最低毎週4・5時間程度の予習を求めます。
	事後学習	授業に集中すれば復習はあまりいりませんが、各自ゼミにおいて興味をもった分野の研鑽に努めることを求めます。
使用教材・参考文献	【教】・【参】 M. サンデル著 (鬼澤忍訳) 『これからの「正義」の話をしよう—いまを生き延びるための哲学—』 (早川ノンフィクション文庫、2011年)。	
成績評価方法と基準	報告・発言内容、そして、ゼミ論の構想等をもとに総合的に評価いたします。	
備考	専門演習 I A (平手) を受講した方は、引き続き必ず本講座を履修すること。	